

平成 28 年 11 月 1 日

京口門だより No. 37

不順な気候と自然災害の多い今年です。いろいろな感染症が流行しているようです。「露か雨か十一月ははじまりぬ」(石田波郷)

風邪ひきも多いようですが、早めに漢方薬で治すことが大切です。このたよりでも何度も申し上げていますが、風邪は鎮痛解熱剤や抗生物質のみで治療する現代医学より、漢方医学のほうがより早く、より適切に治療できます。当診療所の 2 号や 5 号、11 号さらには 1 号でうまく対処してください。

風邪といっても、咽にくる扁桃炎は長引かせてしまうとよろしくありません。昔はひどく腫れた扁桃炎は切除する方法がとられましたが、扁桃は大切なリンパ節で細菌やウィルスを防御する組織ですし、咽頭には扁桃以外にもいくつかのリンパ組織があり、扁桃のみを切除してもあまり意味がありません。

扁桃を含め咽頭部の炎症を長引かせるとよろしくないのは、それを引きがねに血尿や蛋白尿がみられる急性糸球体腎炎を起こしてことがあるからです。とくに IgA 腎症といわれる腎臓病は、繰り返し起こす咽頭炎がその背景にあると言われていています。それは咽頭炎でおきる免疫反応と、腎臓の糸球体でおきる免疫反応に共通性があるからだともいわれています。IgA 腎症をふくむ急性糸球体腎炎を起こすと、現代医学でもなかなか適切な治療法がありません。

ところが、このような扁桃炎や咽頭炎を起こしやすい子供や成人に、ある種の漢方薬を用いますと、よく発熱や咽痛をきたす扁桃炎や咽頭炎を治すとともに、継続して漢方薬を飲んでいただくと、扁桃炎や咽頭炎を起こしにくくなります。そして腎臓の炎症にも良い効果が現われ、血尿や蛋白尿が次第に出なくなってきました。これは大変有効な治療法で、多くの IgA 腎症をふくむ急性糸球体腎炎をわれわれは治療して効果をあげてきました。不思議なことにこの漢方薬は急性腎炎だけでなく、慢性腎炎の方でも有効で、腎炎が次第に悪化して透析療法にまで行くのではないかという方でも、次第に回復して透析を長く避けられている方もおられます。

腎臓病にはそのほか多くの病気がありますが、ネフローゼ症候群という多量の蛋白尿と浮腫をきたす腎臓病がありますが、これも漢方薬が有効です。

